

エンジンオイル

エンジンの性能を維持するためには、定期的なエンジンオイルの点検・補給が必要です。

汚れたオイルや古くなったオイルは、エンジンに悪影響を与えますので、早目に交換してください。エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラーやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

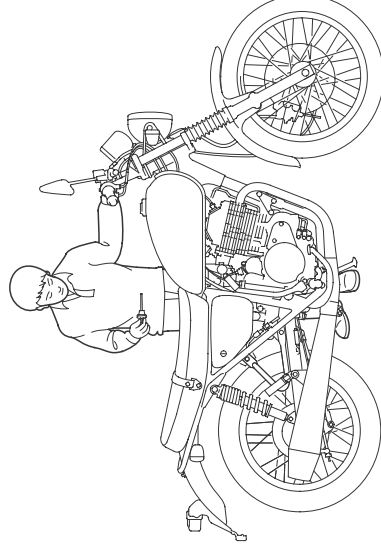
この車の潤滑装置はドライサンプ方式を採用しています。エンジンオイル量の点検は下記の手順で行ってください。

エンジンを始動して、オイル量の点検をする前に、以下の点検を行ってください。

1. 右サイドカバーを取外します。
(32 ページ参照)
2. オイルレベルゲージを外します。
3. 布などでオイルレベルゲージについたオイルを拭きまします。

4. 車体を垂直に立て、オイルレベルゲージをねじ込まずに差し込み、レベルゲージにオイルが付着するかを確かめます。

5. レベルゲージにオイルが付いた場合は、71 ページ記載の要領でオイル量の点検をします。



オイルレベルゲージ

